

猛暑環境でも働き方改革を！ 企業の大切な人財を守る為に！

～過酷現場での味方 「保冷ベスト」～

昨今、日本では熱中症への取り組みが重要視されてきています。
2010年以降、熱中症の救急搬送数は急激に増えており、とくに2018年夏(4月30日～9月30日)の統計では全国で9万5073人が熱中症で救急搬送されたと総務省消防庁から発表があり、過去最多となりました。

日本気象協会や各省庁から熱中症に関する注意喚起や予防の呼びかけもされており、今後の日本では個人の取り組みだけでなく、企業として熱中症対策の取り組みが必要となることが想定されます。また、熱中症になりうる環境下では、労働者の作業効率にも大きく影響がでてしまいます。

では、どのような対策が有効なのか。
本サービスは、過酷な環境で働く方の熱中症への対策および作業環境、作業効率の改善に対するご支援になります。



消費者や業者の声

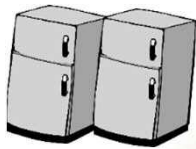
「野外作業や室内などの冷房を使えない場所があり、対策出来ない」
「保冷衣は重くて動きにくくて作業の邪魔になる」
「ファン式は高価であり、購入するまでに踏み切れない」
「ファン式は粉塵等を吸い込み故障要因もある為どこでも使えない」
「保冷剤式はすぐに溶けて長時間もたない」

当社では、
「軽くて動きやすい保冷衣」と「長時間長持ちする特殊な保冷剤」
により、作業者の作業環境と作業効率の改善をサポートいたします。



運用イメージ

作業現場



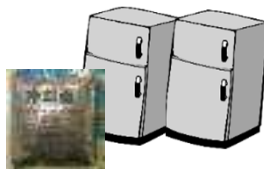
- ・家庭用の冷凍庫で6~8時間以上凍結
※凍結時間は冷凍庫の性能により前後します

①保冷剤を凍結

②ベストを着用

③利用した保冷剤を再凍結

- ・ベストを着用し作業実施
- ・午後にて保冷剤交換
- ・使用済みベストを冷凍庫へ



- ・軽くて体にフィットするデザイン
- ・作業効率向上
- ・両脇と背中に保冷剤を装着可能

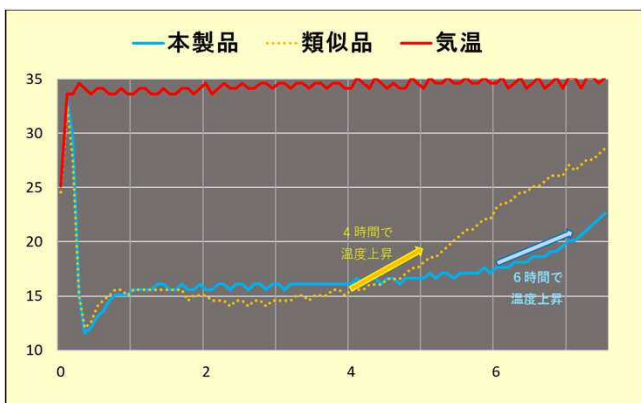


- ・冷却時間が最大4時間継続可能
- ・再利用可能（破損しない限り）
- ・2セット（6個）で1日利用可能

※上記保冷剤は消耗品扱いになりますのでご注意下さい

高性能

保冷剤の性能比較



警察官のヒートストレス対策の為、開発しました

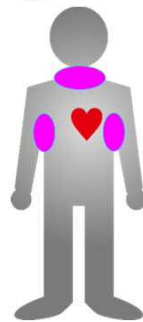
外気温35℃室内で保冷ベストを入れた状態にて放置し温度推移を計測

※客観的な比較をするため、身体に装着せず比較

- ・他社製品は4時間経過後に温度が急上昇
- ・弊社製品は6時間まで温度を保持

効果

効果的に体を冷やす



- ・大動脈付近に密着させ、
効果的に血液を冷却

- ・一般的に人体構造として、熱中症時に体表近くの太い静脈を冷却する事が最も効果的

※脇や首回りの静脈は大量の血液がゆっくり体内に戻る為、冷えた血液が循環する為です

- ・本製品は体にフィットし、脇下・背中の上部にセットした保冷剤が、心臓に戻っていく血液を効率的に冷やすことが可能です
- ・「軽くて涼しい」ではなく容易に熱中症予防を実現できる製品になります

提供価格

- 保冷ベスト3個セット（ベスト1枚、保冷パック：3個）：12,800円（税抜）
- 保冷ベスト6個セット（ベスト1枚、保冷パック：6個）：15,800円（税抜）